

# 専攻医からのメッセージ

## 日置 翔太 先生

外科専攻医  
アメリカ オレゴン州出身  
弘前大学卒

Hello! 外科専門研修プログラム2年目の日置です。オレゴン州立大学卒業後、弘前大学に学士編入学し、元々外科系志望でしたが外国人患者の診療もしたく当院での初期研修を選び、そのまま当院の外科で後期研修医として勤務しています。

外科後期研修は一般的には大学病院の医局と連携することが殆どですが、当院は基幹施設として、他の市中病院（君津中央病院、千葉医療センター）に連携施設を持つ独自のプログラムです。よって、医局とは無関係に外科専門医を目指す人に向いています。私自身は、今後海外でも医療活動がしたいため、当院のプログラムを選びました。

当院は3次救急病院であるため、様々な疾患を経験することができます。一般的な虫垂炎や胆嚢炎から、腸閉塞や腸管穿孔、外傷患者なども来るため、豊富な症例を経験できます。当科の定期手術は火曜日と金曜日ですが、一日に

2、3件執刀することもあり、また緊急手術を要する症例も多いため、手術件数は十分であるといえます。

当科の特徴としては、診断から治療までの全てを経験できるところです。例えば、紹介患者の消化管内視鏡検査を施行して疾患を確認し、術前検査を組んで手術を施行します。術後は外来で化学療法を行い、最期は緩和ケアを施行するまで、一人の患者さんの治療の全てに関わることができます。手術以外にも色々な手技や検査や治療が身につきます。

後期研修医としては、患者さんの治療について責任を感じる日々ですが、上級医にはいつでも気楽に相談ができ、安心した環境でチャレンジできます。とても充実した毎日を送っています。

当院での研修を考えている方は、是非一度見学にいらしてください。

## 根本 孟 先生

小児科専攻医  
千葉県出身  
日本大学卒

小児科専攻医2年目の根本孟と申します。

2020年に日本大学医学部を卒業後、そのまま日本大学医学部附属板橋病院で初期研修をし、2022年度より当院の小児科専攻医として勤務しています。

私は小児血液腫瘍に興味があり、後期研修先として当院を選びました。去年度は後期研修1年目として前半の6ヶ月間で小児血液を含む一般小児の研修をしました。半年という短い期間ではありましたが、2例の造血幹細胞移植に関わり、またプロトコルを参照しながら化学療法のレジメンを自分で組んだり、初発時の病状ICに同席したり、様々な経験を積むことができました。

もちろん感染症などの一般小児医療についても、救急外来から入院、そして退院後の外来診療まで勉強することができます。

後半の6ヶ月間はNICUにて新生児科研修をしました。当院はNICUも充実しており、入院数は年間300人を超えています。院内のグレードAの緊急帝王切開の立ち会い、超低

出産体重児の診療や、近隣の産院へのお迎え搬送等が印象に残っています。

また静脈路留置、超音波検査から挿管等まで様々な手技も経験することができました。

特に極低出生体重児が出生してから、NICUでの急性期管理を経てHFNC等が必要な医療的ケア児として退院していくまでの過程を経験できたことは、今後小児科医として働く上で大きな糧となると感じています。

そして後期研修2年目となる今年度は他施設にて研修予定です。

私は千葉大学医学部附属病院にて9ヶ月間、国立病院機構下志津病院にて3ヶ月間研修させて頂く予定です。後期研修最終年となる来年度は再び当院へ戻り、血液腫瘍を含めた小児科診療を再度研修予定です。

当院での1年間の研修を経て、当院の特徴を端的に表すなら『一人でやり抜く力がつく』という表現がぴったりかなと感じています。

自分の昨年度1年間の研修を振り返り、当院の小児科専攻医プログラムの紹介とさせていただきましたが、プログラムの詳細等書ききれなかったこともたくさんあります。少しでも興味を持っていただけたなら、是非一度見学にいらしてください。